

冬の泉北教研 武庫川女子大学大学院教授 田中 孝彦氏 子ども理解と学習指導を結びつける教育実践を探る

やっぱり、子どものこと話し合おう!



と田中氏は言います。
は大阪だけでなくこ
とを強く感じている
は大阪だけの動き
のような大阪の動き
進んでいます。こ
ら「学力競争」が推
「教育改革」と称して、上か

田中氏は、まず子どもたちがおかれている教育の現実について解説されました。大阪で制定された「府教育基本条例」により、今、大阪の教育の現状は、「教育基本条例案」体制とでも呼ぶべき状況にあります。「格差」と「貧困」が広がり、子どもの状態が深刻になっていることに対して、必要な総合的な施策を講じるのではなく、子どもたち自身の努力不足や親の育て方の問題、教師の指導力不足などの問題に原因を求め、「教育改革」と称して、上から「学力競争」が推進されています。このように大阪の動きは大阪だけでなく、こ

子どもの状態が深刻になっている

2月1日土曜日、和泉コミュニティセンターで泉北教研が行われました。講師に武庫川女子大学大学院教授の田中孝彦氏を迎え、「子ども理解と学習指導を結びつける教育実践を探る」をテーマに講演していただきました。日本の社会では、「格差」「貧困」の進行の下で、子どもや若者たちは深い「ダメージ」と「傷」を受けています。子ども・若者たちを理解し、受け止め、教育実践・教育指導をどう考え作り出していくか、共に学びました。

子どもの成長を交流し合おう

田中氏は福島に住むの子ども・若者たちが悩み、深く考えようとしている実情を話され、今私たち大人に求められているのは、子ども・若者たちの問いを受け止め、問いに応える教育実践・教育指導をどう創り出していくかと言います。子どもを理解し、学習指導に結びつけようと模索していく中で、教師間の交流、経験と洞察の共有が大切であることが改めて感じられました。

《参加者の感想》

・今の教育現場は、本当に忙しく、狭い指標(学力テスト)に教師が押し込まれています。一方で、その大きな流れの中に居つつ、自分達にしかできない実践、役割、学級づくりができるのも思っています。

みんなの力で押し返したぞ! 賃上げ13年12月にさかのぼって支給

府当局からの最終回答(要旨)

- 給与改定(=平均給与月額9800円のアップ)
給与表の改定...人事委員会の勧告のとおり改定
実施時期...2013年12月1日
- 2014年度の給料特例減額
2014年4月から1年間、下表のようにカット率を圧縮して延長

カ ッ ト 率	現 行	管理職					再 任 用
		11.5%	教諭など非管理職				
		11.5%	9%	7%	5%	3%	5%
	新	2.5%	1.9%	1.5%	1.1%	0.7%	1.1%

- 非常勤特別嘱託員・非常勤若年特別嘱託員の月額報酬
2014年4月1日より常勤職員の取り扱いに準じて152,540円、217,190円に改正

す。田中先生の話の中で、教師同士のつながりを大切にしたい、経験と洞察を交流したいことと思いました。
・貴重なお話をありがとうございました。ございました。社会全体の問題などに関しては、大きな問題であったり課題でもあるので、自分自身がどう考えられるのか、まったく想像もできませんが、今は今のクラスの子どもたち一人ひとりについて、もっともつと理解していかなければいけないと思いま



組合に加入して、「教育基本条例」「評価・育成システム」をなくそう!